# あおもり民医連

2021年1月20日発行
【4面オールカラー】発行部数2,887部
第291号

発行元／青森県民主医療機関連合会
所在地／〒030-0822 青森県青森市中央１丁目6-8 3F
TEL. 017（723）4076　FAX. 017（773）5326
URL http://aomin.jp/　e-mail info@aomin.jp


# 謹んで新年のご挨拶を申し上げます

青森県民主医療機関連合会
会長 田代　実


## パンデミック後の社会を考える

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが世界を覆い、世界全体で８０００万人超、日本で22万人超、青森県でも４２８人の感染者が確認されました（12月27日時点）。県連加盟事業所でも職員や利用者の感染例がありましたが、いずれの事業所でも施設内二次感染を生じることなくこれまでのところ経過しています。あらためて職員の皆さんの奮闘に敬意を表します。

今回のパンデミックは、「社会のあり方」を問うものともなっています。昨年1月から12月18日までの失業者は、東北全体で６８７７人、県内では１４３０人とされています（実数はさらに上回る）。このような中、生活困窮者が増加し、困窮者支援を行うＮＰＯ法人の代表からは「元々ギリギリで生活していた人々が多く、新型コロナを契機にそれが一気に顕在化した」という声が聞かれます。日本の住居保障や、雇用・労働政策の脆弱性が明らかとなっています。

長崎大学熱帯医学研究所教授の山本太郎氏は、以下のように述べています（『世界』２０２０年７号「パンデミック後の未来を選択する」）。

「なぜ、ある感染症が流行するのか。これまで私たち研究者は、その原因を一生懸命に考えてきた。しかし、どうやらその考えは違う。むしろ逆ではないかと。流行する病原体を選び、パンデミックを性格づけるのは、大きく『社会のあり方』ではないかと。ヒトの行き来により格段に狭くなった世界。とどまるところを知らない熱帯雨林の開発や地球温暖化。それらが相まって、野生動物の生息域が縮小し、ヒトと野生動物の距離が縮まった。野生動物と共存していたウイルスは調和を乱され、行く場所を求めてヒト社会に入り込んでくる。新興感染症が頻繁に発生する理由はそこにある。加えて、増加した人口、都市への密集、世界の隅々まで発達した交通網が感染拡大の原動力となる。現代社会は、ウイルスの〝出現〟と〝拡散〟の双方にとって『格好』な条件を用意する。」（続けて）「感染症は社会のあり方がその様相を規定し、流行した感染症は時に社会変革の先駆けとなる。そうした意味で、感染症のパンデミックはきわめて社会的なものとなる。パンデミック後に時として出現する新たな社会は、独立した事象として現れるわけではなく、歴史の流れの中で起こる変化を加速するかたちで表出する。問題は、それがどのような社会か。国民国家からそれを超えた国際的な連帯への転換点となるのか。あるいは監視的分断社会の訪れの始まりになるのか。社会がどうあるか、どう変わっていくか、どういう希望のもとにあるべきか、というのは、一人ひとりの心の中にしかない。それが合わさって未来への希望につながる。言葉を変えていえば、選択可能な未来は私たちの中にしかない、ということかもしれない。」

私は、昨年の年頭あいさつで「新自由主義を乗り越える時代へ」と書きました。日本ではＣＯＶＩＤ－19の大流行を経験する中で、医療・保健分野に新自由主義がもたらしたものの弊害が明らかになっています（保健所機能の低下、感染症病床の削減、医療提供体制の削減、等々）。パンデミック後の社会を展望するとき、新自由主義の克服に加えて、次の社会の要素として、無差別・平等、公正、人権保障などがその基軸になると考えます。そのようなことに関する思索も、職員の中で深めていきましょう。

本年もよろしくお願いいたします。

今年もお年玉あげちゃいます

日頃のご協力・ご愛読に感謝して 抽選で22名にお年玉プレゼント 応募は定期便・封書・FAXで！
応募用紙及び応募の詳細は本紙４面に掲載しています。抽選結果は次号（3月15日発行）に掲載予定。応募締切／2021年2月16日

# 薬害根絶デー動画学習会

## ～サリドマイド薬害について～

十一月四日(水)、ファルマ弘前薬局で薬害根絶デー動画学習会が行われ、講師の佐藤嗣道氏による「サリドマイド薬害」についての動画を視聴しました。

動画では、〝サリドマイドの特徴〟や〝なぜ薬害が起こってしまったのか〟などについてのお話がありました。日本では、サリドマイドが「妊婦に安全な睡眠薬・胃腸薬」として売られてしまったこと、外国に比べて日本では薬害発生への対応が遅れてしまったことが、被害を拡大させてしまいました。そして、被害者とその家族の方々は、日常生活に苦難を強いられているというお話もありました。実際にサリドマイド薬害の被害にあわれた佐藤嗣道氏の言葉はとても重く感じ、二度と同じようなことが起こってはいけないと感じました。現在、新型コロナウイルスがパンデミックを引き起こし、世界中で治療薬や予防薬の開発が急がれています。過去の過ちを二度と繰り返さないよう、安全性をしっかりと確認した上で治療薬・予防薬の承認を行っていただきたいです。

(ファルマ弘前薬局／奈良美春)

## 健生エリア

# これまでの新型コロナウイルス対応を振り返る

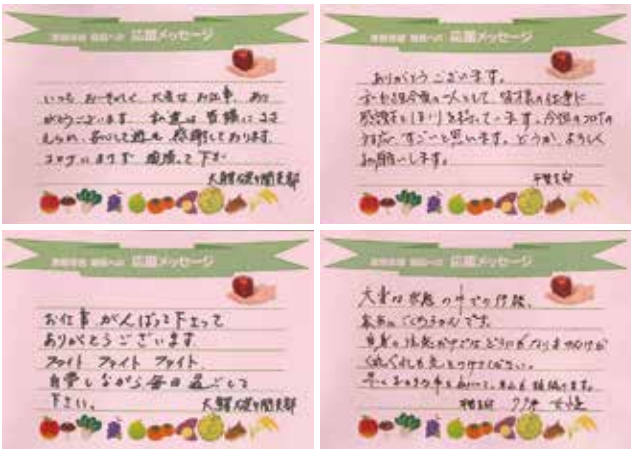
健生病院の様子（12月10日）

昨年は年頭時点では全く予想してなかった、新型コロナウイルス感染のパンデミックがおこり、健生病院の医療活動も大きな影響を受けました。2020年４月６日にCOVID-19対策本部を設置し、職員とその家族、患者・同僚を感染から守ることを重点として、感染対策に取り組み始めました。当院の地域における最も重要な役割は、２次急性期医療の提供を中心とした通常診療を維持することであり、そのためにCOVID-19対策を位置づけてきました。

10月以降、弘前市内でのクラスター発生に伴い、院内に対応チームを立ち上げCOVID-19患者受入れ病棟を設置しました。入院状況は、10月には10人以上でしたが、その後は数人以下で推移しています。10月15日には発熱外来を開始すると同時に、PCR検査態勢を急遽構築しました。発熱外来は現在まで継続し、PCR陽性患者のトリアージを含めた診療を継続しています。PCR検査は一日最大118件、累計1000件を超えて実施しており、各部門の職員の力を総動員する形で実施し地域の中でも中心的な役割を果たしました。

ERでは、有症状の感染疑い患者も含めた２次救急患者の受け入れを、感染拡大への対応とともに実施してきました。受診者の誰が感染しているか分からない状況での診療となり、院内感染を防ぐために地域の医療機関とも連携しながら困難な中診療を継続しています。

**新型コロナウイルス感染症対応と共に、通常診療を維持し、何より院内感染を起こさずに診療活動を継続することが出来ました。引き続き十分な感染対策をとりながら地域にとって必要な医療提供を実践していきます。**(健生病院病院長／伊藤真弘)



組合員さんからの応援メッセージ

12月10日テレビ朝日
「報道ステーション」の取材を受けました

# うちのメごっこ vol.60

♥ name　恵實（めぐみ）
♥ age　8か月

2020年春、めごっこ三男が誕生しました。
当時学校はコロナ禍で臨時休校中。そのため長男（中１）が強力な助っ人に!(^^)!
長男に抱っこされるとあら不思議、さっきまでぐずっていてもご機嫌に。
お兄ちゃんたちの愛情をたっぷり受けすくすく育ち、今はなんでも口にするので目が離せません。
（八戸医療生活協同組合　生協訪問看護ステーション虹／柴崎晃子）

## 私の三つ星★★★

### オススメ「医療経営士」

労務職として入職した2016年、建築分野の資格を持っていた事から、津軽保健生協で当時建設中だった健生病院の建設事務局に参加させて頂きました。

が…、入職後間もないため医療関連の知識も乏しく四苦八苦し、医療分野について学習出来るツールが無いか探していた時に、医療経営士という資格を知りました。

医療の仕組み、関係法令、報酬制度など学習範囲が多岐に渡り、医療経営の全体像を理解出来たと共に、名刺に「医療経営士」が記載された事で自信も沸き、病院建設や日々の業務にも役立ちました。

医療経営士資格の主幹団体が医療関連の書籍販売やセミナーの開催をしており、雑誌への寄稿や、学会『2019年全国大会』での演題発表の機会を頂き（僭越ながら受賞してしまい）、全国の医療関係者との名刺交換、仙台開催のセミナーでの講演、県内の医療経営士の方々と勉強会開催に向けた交流など、医療業界の人脈生成にも役立ちました。

これからの厳しい情勢の中、職種に関係なく一人一人が経営について考える事が重要となります。興味の有る方はぜひ挑戦してみてください。

（生協さくら病院　事務次長／葛西直哉）

キリトリ

## 2021年　お年玉　AOMORI MIN-IREN　応募用紙

### 2021年やりたいこと・行きたいところを教えて下さい

理由



応募の詳細は4面（裏面）をご覧下さい。

あおもり民医連 291 号　発行日 2021.1.20　発行部数 2,887 枚　AOMORI MIN-IREN

## 第44回全日本民医連総会方針学習

# 月間推進委員会まとめ

**新型コロナ禍で、私たち青森民医連理事会は全日本の方針に基づき、二〇二〇年四月二日県連理事会にて「学習月間の目標・体制・進め方」を確認し、四月十四日の県連月間推進委員会事務局会議から始動しました。**

第四十四回総会方針がこの激動の時代を切り開く明確な羅針盤となり、全ての職員が総会方針を身につけることを目的に学習月間をすすめました。3密を避けて感染予防を徹底し、そのため極めて小集団での学習か個人学習を余儀なくされましたが、各法人・事業所では創意工夫を凝らし、一人一人の職員が総会方針を学習し実践することが、困難な今という時代を切り開く力になることを確信し、取り組みました。

特徴点としては、**『多くの職員に民医連運動への確信と共感が広がった』**ことです。とりわけ職責者が、自らの職場の方針と総会方針を重ね合わせたことで確信を深めたことです。提出されたレポートのいたるところに、「無差別・平等」、「無低診」、「アウトリーチ」、「SDH」、「多職種協働」、「組合員」、「共同組織」のほか、「民医連綱領」、「経営を守る」、「憲法まもれ」、「核兵器禁止条約」や「世界環境」など、総会方針をよく学び、確信にしていることがうかがえました。

しかしながら、**職責者の読了が八十%に届かなかったことや学習会等の集計も実数で学習度合いをはかれなかった等、反省もあり今後改善していきます。**

学習月間は昨年の九月で終了しましたが、四十四期はあと一年と数か月を残しています。引き続き、各職場教育において継続的に『民医連綱領』『健康権』『HPH』そして『憲法』など民医連として必要な学習を今後も強化していきましょう。

（総会方針学習月間推進委員会／委員長　佐藤真人）

今年も お年玉 大サービス！

日頃のご愛読・ご協力に感謝して ＼定期便で応募OK／

**抽選で22名にお年玉プレゼント**

**図書カード　1等(2名)3,000円分　2等(5名)1,000円分　3等(15名)500円分**

下の応募用紙を切り取り、必要事項を記入して定期便又は封書・FAXで青森県民医連青森事務所までお送り下さい。抽選の結果は3月号（3/15発行予定）に掲載いたします。

ご注意　郵送する場合は事業所の封筒や切手の利用はご遠慮下さい。

キリトリ

2021年　お年玉　AOMORI MIN-IREN　応募用紙

機関紙「あおもり民医連」
お年玉プレゼント 係

必ず、下記と**裏面**も忘れずにご記入下さい。

事業所名　　ふりがな

所属部署　　お名前

応募〆切／2021年2月16日必着　定期便・封書・FAXにてご応募下さい。